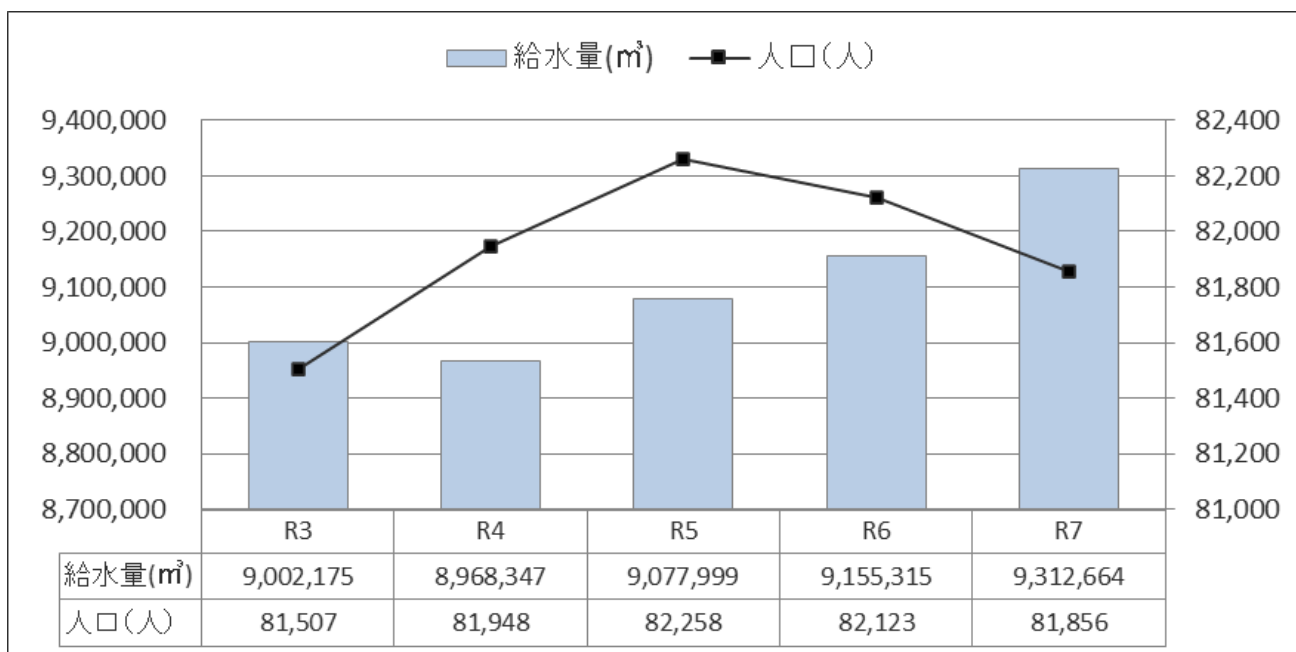
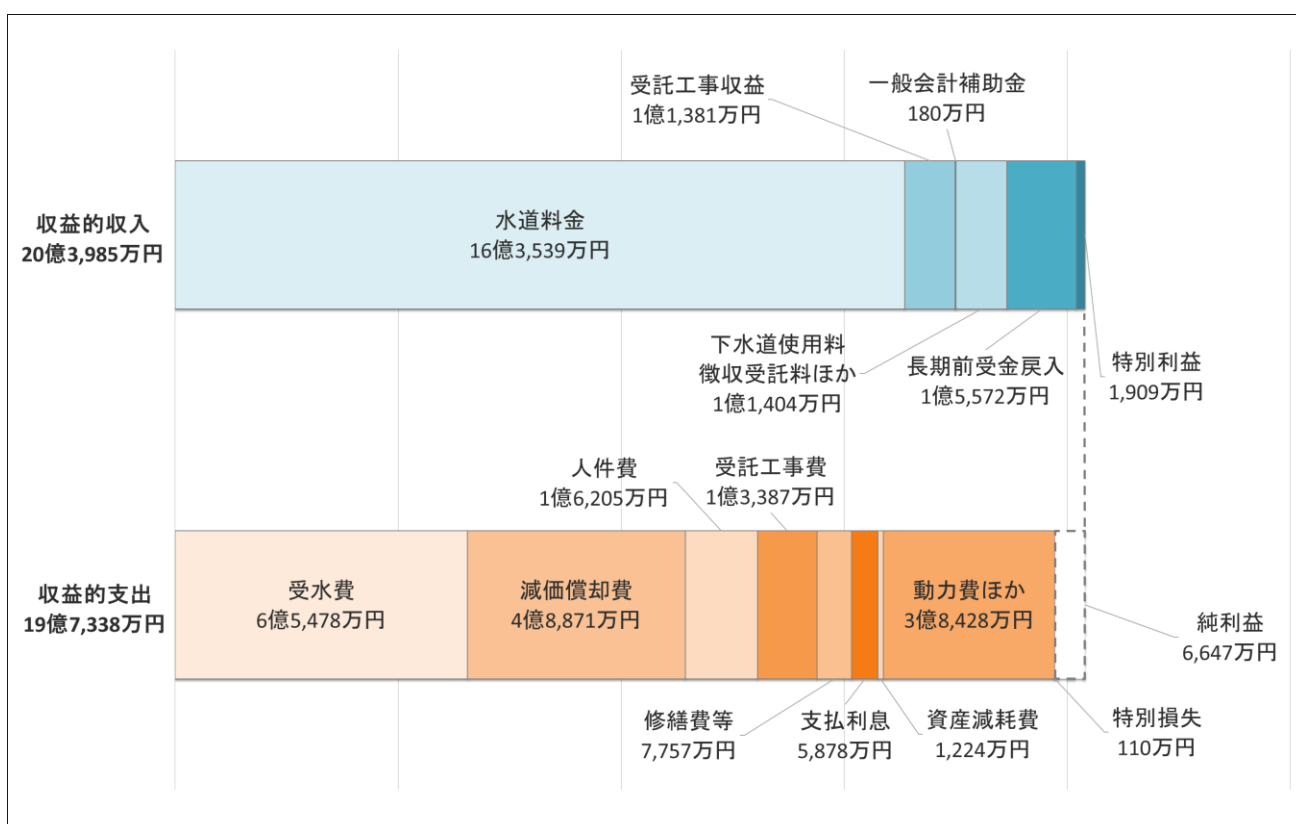


◆給水量と給水人口の推移



◆収益的収支(消費税抜き)



※万単位未満は四捨五入としているため、差し引きは一致しない場合があります。

収益的収支は、お客さまからいただいた水道料金や給水管の引き込み工事代金(受託工事収益)などの収入と、各家庭や店舗・会社・工場等へ水道水をお届けするためにかかる費用をはじめ、京都府営水道の受水費や、減価償却費、企業債の支払利息等の支出からなります。

令和7年度の収入総額は20億3,985万円、支出総額は19億7,338万円となり、その結果、収益的収支は6,647万円の純利益となりました。

前年度繰越利益剰余金と合わせ、未処分利益剰余金55億7,760万円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

◆収益的収支の対前年度比較(消費税抜き)

(単位:万円、%)

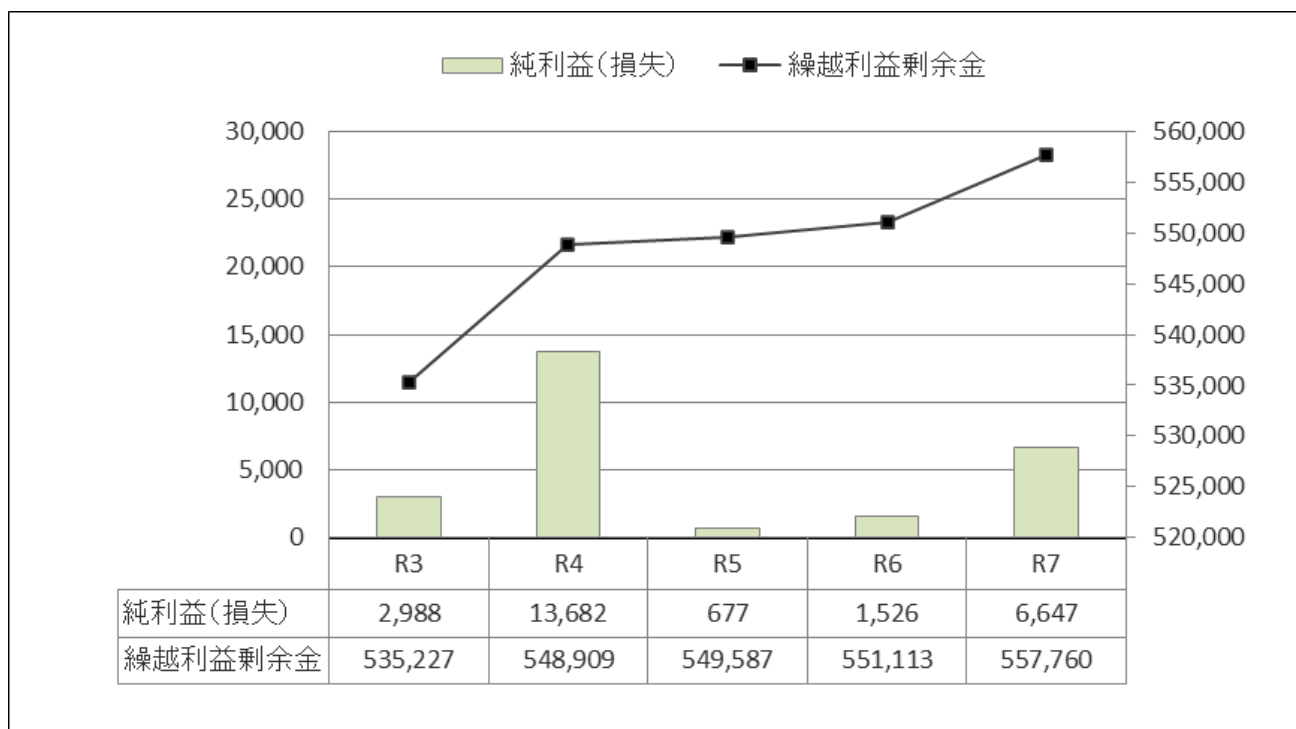
区分	R7年度	R6年度	増減額	増減率
収益的収入	203,985	196,218	7,767	3.96
水道料金	163,539	163,832	△ 293	△ 0.18
受託工事収益	11,381	7,726	3,655	47.31
一般会計補助金	180	126	54	42.86
下水道料金徴収受託料ほか	11,404	8,503	2,901	34.12
長期前受金戻入	15,572	16,031	△ 459	△ 2.86
特別利益	1,909	0	1,909	皆増
純損失	—	—	—	—
収益的支出	197,338	194,692	2,646	1.36
受水費	65,478	66,638	△ 1,160	△ 1.74
減価償却費	48,871	49,126	△ 255	△ 0.52
人件費	16,205	18,603	△ 2,398	△ 12.89
受託工事費	13,387	10,337	3,050	29.51
修繕費等	7,757	8,461	△ 704	△ 8.32
支払利息	5,878	6,035	△ 157	△ 2.60
資産減耗費	1,224	436	788	180.73
動力費ほか	38,428	34,712	3,716	10.71
特別損失	110	344	△ 234	△ 68.02
純利益	6,647	1,526	—	—

※長期前受金戻入とは、固定資産の取得または改良時に交付を受けた補助金等の減価償却見合い分を収益計上するもので、現金収入を伴わない収益です。

※万単位未満は四捨五入としているため、差し引きは一致しない場合があります。

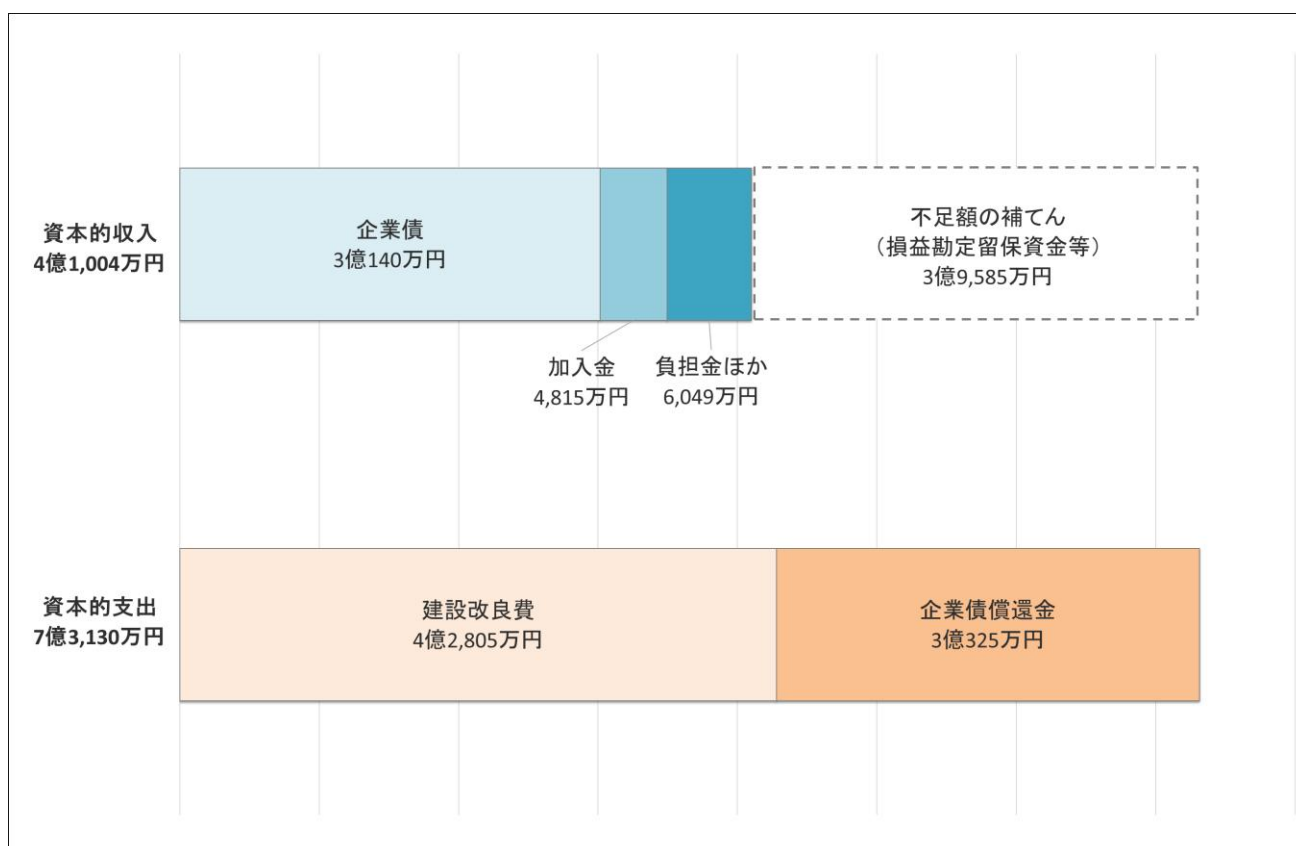
◆純利益(損失)と繰越利益剰余金の推移

(単位:万円)



※グラフの金額は万円未満を四捨五入しています。

◆資本的収支(消費税込み)



※万単位未満は四捨五入としています。

※資本的収入額(翌年度に繰り越される支出の財源に充当する額7,459万円を除く)が資本的支出額に不足する額は内部留保資金で補てんしました。

資本的収支は、資金の借入(企業債)や工事分担金などの収入と、水道施設の新設・更新工事などに係る費用や企業債の元金償還に要する経費などの支出からなります。

令和7年度は、東第2浄水場送水ポンプ取替工事、東ポンプ場解体関連送配水管切替工事、開田3丁目地内配水管布設工事、東第2浄水場無停電電源装置取替工事、神足森本地内配水管布設替工事その3などを行いました。これらの事業費に固定資産取得費、事務費、リース債務支払額を合わせた建設改良費は4億2,805万円となりました。また、企業債の元金償還金が3億325万円で、支出総額は7億3,130万円となりました。

これらに充当する資金として、企業債(借入金)が3億140万円をはじめ、加入金、負担金、分担金、固定資産売却代金を合わせた収入総額は4億1,004万円となりました。収入総額(繰越工事資金7,459万円を除く)から支出総額を差し引いた額は、3億9,585万円の不足額となり、損益勘定留保資金(減価償却費などの現金支出を伴わない費用)などで補てんしました。

◆資本的収支の対前年度比較(消費税込み)

(単位:万円、%)

区分	R7年度	R6年度	増減額	増減率
資本的収入	41,004	23,170	17,834	76.97
企業債	30,140	19,940	10,200	51.15
加入金	4,815	2,787	2,028	72.77
負担金ほか	6,049	443	5,606	1,265.46
資本的支出	73,130	61,966	11,164	18.02
建設改良費	42,805	31,843	10,962	34.43
企業債償還金	30,325	30,123	202	0.67
資本的収支不足額	39,585	43,933	△ 4,348	△ 9.90

※万単位未満は四捨五入としているため、差し引きは一致しない場合があります。